

-リテラシーの発達に重点を置いて-

三好 大 (東京学芸大学大学院教育学研究科院生)

1. 背景

- ・対象…フィリピン出身・滞日2年・小学5年生
- ・教科学習

自分の意見を詳しく説明することに課題

→**思考力・表現力の伸張が必要**

【オットーのあらすじ】

主人公のテディベア・オットーが、ユダヤ人の少年デビットに誕生日プレゼントとして送られ、友人のオスカーと楽しい日々を過ごすが、戦乱の中で3人はバラバラになり、さまざまな人の手に渡っていく。しかし、終戦後、骨董屋に売られているオットーが、デビットに発見され、それを機にオスカーとも再会を果たす。平和の大切さと戦争の恐ろしさがテーマの作品である。

3. 目標

本実践におけるリテラシー＝自らの知識や可能性を発達させ、書かれたテキストを利用し熟考する能力

- 既存知識を活用した学習
- 読書と対話を通じた思考・表現

→**思考力・表現力の伸張**

4. 展開と工夫

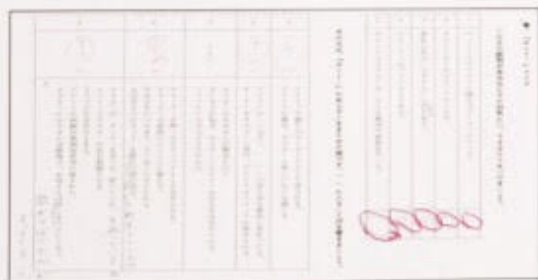
- レオの興味…戦争 (←生活経験)

↓選書

- 『オットー戦火をくぐったテディベア』
—日本語のレベルが適正
—書かれていないことを想像しながら読むことでテーマが理解出来る。

5. 活動の様子

②内容理解のクイズ



③形容詞と場面の整理



6. 結果と考察

工夫

- ・自分の経験と関連づけを促すテーマ設定と問いかけ
- ・形容詞を手がかりとした読解

結果

- ・自分の経験を関連づけた意見の表出
- ・テーマについてのより深い理解

考察 意見を説明するための**思考力の伸張**

課題 理解したことを文章に再構成する**表現力の育成**